

育連だより

<http://web-k.jp/ikuren/>

ありがとうございました

前理事長 中島忠三氏



このたび理事長を退任された中島忠三氏は、長い間川崎市青少年の育成に尽力されました。理事長在任中にはリエカ市や韓国富川市との交流使節団派遣の実現や、とりわけ育成連盟の自治大臣賞受賞

に貢献されるなど大きな功績をあげられました。今後は引き続き顧問として、さらなる青少年育成にご支援を戴きたいと思ひます。

(辻 正人)

新理事長あいさつ

理事長 辻 正人



6月の総会で川崎市青少年育成連盟理事長に推薦されました、子ども会連盟の辻正人です。ボーイスカウト、ガールスカウト、海洋少年団の皆様のご支援を請け、責務を勉めさせて戴きます。

前任の中島理事長、本当に永い間ご苦労様でした。中島さんの築いて来た足跡を汚さぬ様一歩一歩進めていく覚悟です。最後になりましたが、青少年育成連盟参加諸団体のさらなる発展を祈念し挨拶とします。

八ヶ岳リーダー宿泊研修によせて

川崎区子連長 岩井 茂

今年の連盟の八ヶ岳リーダー宿泊研修は川崎区子連が8月16日トップとして始まった。川崎区子連の活動メニューは、1日目はビーフカレー作り、ナイトハイキングと星の観察。この日の夜は曇りで星はよく観察できなかつた。2日目は昼のウォークラリーと夜のキャンプファイヤー。研修生は両方とも大いに満喫していたようだ。JLのリーダーが大いに力量を発揮していた。カレー作りでは食べるだけであつたが、レクリエーションとなると目の色が違う。研修生をうまくリードしてたんのうさせていた。特にキャンプファイヤーでは、研修生も我を忘れてゲームや歌に酔いつぶれていた。その中で指導者が陰に陽に活動している姿には敬服した。宿泊研修では様々の事を研修している。親元から離れて行動するも、夜になると家が恋しくなつて泣き出す子、それを慰める子、普段では想像もつかない事をやり抜いていく。暗いニュースばかり聞いている中で、こんな姿を見ると今の子供達も捨てたものではないと思わされた。

道に迷ったりすることもいい経験である。まさかこんなところで迷子になるとは思ったことが、KYTそのものを経験した事になり、危険は身近な所に在るということを知り今回の研修も大成功であつた。これも指導者の緻密な計画と現場での指導によるものである事を教えられた2泊3日の宿泊研修であつた。



スカウト交流について

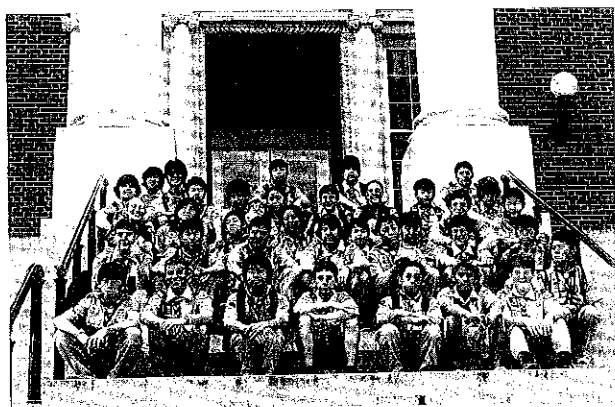
ボーイスカウト川崎地区協議会 国際委員会 堂本 暁生

2005年夏、川崎のボーイスカウト23名が姉妹都市の一つであるアメリカ合衆国ボルチモア市へ渡米しました。2週間の滞在で、ホームステイを中心に市長の表敬訪問・交流キャンプ・ワシントン・ニューヨークなど近郊観光などをして過ごしました。

1985年、始めて川崎のボーイスカウト14名が渡米して依頼、お蔭様でこの20年間で238名の日米スカウトが川崎市とボルチモア市を往来し、相互

交流をさせて頂きました。長い間、このプログラムが継続出来たのは、ボーイスカウト活動が世界共通の青少年教育の活動であった事がこの交流が長く成功した理由と思います。言葉や習慣、文化の違いを乗り越え、参加したスカウトが大変有意義にプログラムが出来たと思います。

来年は、ボルチモア市のボーイスカウト18名が来川します。この活動が末永く続く事を期待します。



住環境の彼我の差を痛感したホームステイ

ボーイスカウト川崎地区協議会
2005年度派遣隊隊長 境 紳 隆

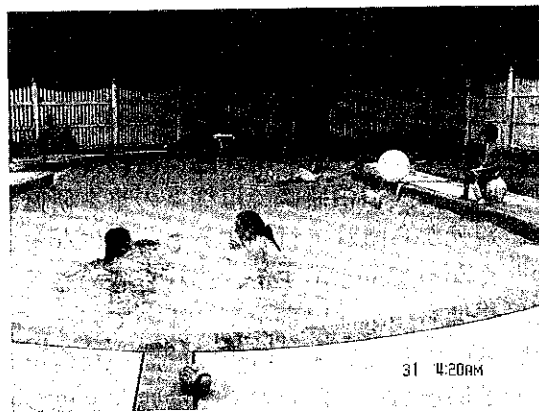
2005年度の派遣は、7月23日(土)に日本を発ち8月7日(日)に帰国する、15泊16日の旅程で開催されました。この15泊の内、キャンプ場等での4泊と機中泊1泊を除く10泊をホストファミリーのお宅でお世話になりました。

ボルチモア市中心から車で1時間程の郊外の町で、サラリーマンのお父さんが「うちは田舎だから」とは言うものの、約2,000坪の敷地に100坪の家。運転する人が二人なのに車が3台あって、庭にはプールもある。犬が2匹猫が1匹放し飼いに

なっており、家中どこでも当然な顔をして入ってくる。庭の片隅では野うさぎが子育てをしており、夜になると蛍があたり一面飛び回る。そんな昔の米国製ホームドラマを髣髴とさせるような住環境に圧倒され、彼我の差を痛感しました。

ホストファミリーには、弁当を含めた毎日の食事に下着の洗濯までお世話になり、その欲待ぶりにはただただ感謝いたしております。

来年は日本が迎える番。狭くても便利な日本式生活の極意を是非伝授したいと思っています。



「浦ふれあいの村」に行つて - 県支部ブラウニーキャンプ 8/26-28

ガールスカウト神奈川県第32団

生方 ももこ

三浦ふれあいの村に行つて一番楽しかった事は、海に入ったことです。二日目の朝六時におきて、すぐ目の前にある海に入りました。海にいた生物は、カニ・やどかり・フナムシ・カイなどです。石にはりついていたものもいました。大きさは、いろいろでした。やどかりはせなかのもようがいろいろで、見ているだけで楽しかったです。また、私は見られなかったのですが、しまもようのきれいな魚もいたそうです。見たかったな!

鈴木 萌夏

キャンドルファイヤーが、一番の思い出です。はじめて会ったリーダーと、はじめて会ったスカウトのみんなと歌う はじめての歌。わになって歌うと、みんながすぐ友達になれてあったかい気持ちになれました。またみんなに会いたいな!



テントの設営練習

川崎海洋少年団 山岡 修

夏の暑い日に秋のキャンプに向けて、多摩川河川敷でテントの設営の練習をしました。

今では、ファミリーキャンプも盛んに行われるようになり、ドーム型のテントが主流の昨今では、簡単に設営できるようになりましたが、テントを張るには、みんなの力を合わせ、協調性がないとなかなかうまく張ることができません。テントの設営前は、テント本体、フライシートやペグなどの備品確認をしてから設営をします。

テント本体の四隅を持って、設営場所を決め、支柱となるポールをテントに差し込み、いよいよ平面だったテントを立体的にする作業を行います。ここが一番の力を必要とし、危険もともなう作業です。ポールを魚がかかった竿のようにしならせ

ながら持ち上げていきます。持ち上げていくとテントの大きさを向かい側の人が見えなくなるので、ここで声を出し合うことが重要なことになってきます。お互いの声の掛け合いで無事にテントを張ることができました。その後は、お弁当を食べて、テントの収納を終え、レクリエーションをして本日の活動は解散となりました。



環境美化活動

宮前区子連 亀山 鉦

宮前区子連では平成6年8月川崎市制施行70周年記念事業として、「大壁面作成」に取り組みました。

全長180mのコンクリートの道路擁壁をキャンパスとして「未来・宇宙」「夢」「生物」をテーマに、それぞれの子ども会が堅いコンクリートの壁に子ども達の夢と希望を見事に描き出しました。暑い暑い夏の作業でした。

あれから11年が経過しましたが、区子連では定期的に壁画周辺の除草や清掃を行なうとともに、平瀬川畔の清掃にも取り組んできています。

10年余の風雨に晒されて、壁画も大分老朽化が進み部分的な修復では復元が難しい状態になってきています。

いま区子連では、壁画の再生について種々検討

を重ねているところですが、資金・指導者・作業用の足場・参加する子ども会の数等克服すべき課題が山積しています。

今年度中には何とか課題を解決し、子ども達の「夢と希望」を再生・保存していきたいと考えています。



インターナショナルフェスティバルに参加して

ガールスカウト神奈川県第40団 坂本 理恵子

7月3日国際交流センターにてインターナショナルフェスティバルが行われました。

まずはみんなでバザーの手伝いをしました。私の団はブラウニーの数が多かったので、バザーはどちらかというとお店屋さんごっこ(?)のようでしたが一人のお客さんに大勢で接客したり、大きな声で呼び込みしたりと張り切っていました。

印象に残ったのはその後みんなで会場を見ていたとき、一つの参加団体のポスターの前にスカウト達の足が止まりました。なんだろうと見てみるとそれはベトナム戦争の枯葉病の被害を受けた子供たちの写真でした。「何でこんなになっちゃったの?」『戦争で薬をまいてしまったからだよ。』『戦争ってなあに?』『・・・。』うまく返答が

できませんでした。今回スカウトたちが素直に感じたことを大切に、今後戦争や平和についてみんなで考える機会をもてたらと感じました。私にとっても勉強になった1日でした。



誰でも何でも相談できるよ! ~相談窓口の紹介~

学校や子どものこと、家族のことなど、何か困ったことがあったら、気軽に電話で相談してみたいかどうか。

子ども専用電話

- ・総合教育センター教育相談(溝口)(土・日・祝日・年末年始は休み) 月~金 9:00~16:30 TEL 844-6700
- ・総合教育センター教育相談(塚越)(土・日・祝日・年末年始は休み) 月~金 9:00~21:00 TEL 522-3293

子どもも大人もかけられる電話

- ・総合教育センター教育相談(溝口)(土・日・祝日・年末年始は休み) 月~金 9:00~16:30 TEL 844-3700
- ・総合教育センター教育相談(塚越)(土・日・祝日・年末年始は休み) 月~金 9:00~21:00 TEL 541-3633
月~金 16:00~21:00 TEL 0120-533-993
- ・教育委員会 教育相談(土・日・祝日・年末年始は休み) 月~金 9:00~16:30 TEL 200-3288
- ・ヤングテレホン相談(日・祝日・年末年始は休み) 月~金 12:00~20:00 TEL 739-8080
土 9:00~17:00
- ・中央児童相談所 児童相談(土・日・祝日・年末年始は休み) 月~金 8:30~17:00 TEL 877-8111
- ・南部児童相談所 児童相談(土・日・祝日・年末年始は休み) 月~金 8:30~17:00 TEL 244-7411
- ・かわさき いのちの電話 毎日24時間受付 TEL 733-4343
- ・人権オンブズパーソン(日・祝日・年末年始は休み) 月・水・金 13:00~19:00
土 9:00~15:00
- ・子どもの権利の侵害に関する相談 TEL 0120-813-887
TEL 813-3110
- ・男女平等にかかわる人権侵害の相談 TEL 813-3111
- ・児童虐待防止センター 子育てSOS(土・日・祝日・年末年始は休み) 24時間受付 TEL 738-0950
※平日の昼間の電話は、中央児童相談所につながります。

※川崎市では平成12年3月に、共に生き共に育つ川崎をめざして「川崎市青少年プラン」を策定しました。青少年プランに基づく平成17年度の施策の実施状況がまとまりましたので、詳しくは川崎市ホームページをご覧ください。

川崎市ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/>

<川崎市トップ/暮らしのインデックス青少年/青少年プラン>

発行 川崎市青少年育成連盟
事務局 〒211-0053
中原区上小田中6-22-5

エポック中原5階
TEL 044-733-3951
印刷 西桜印刷株式会社

※青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは、青少年育成連盟事務局(733~3951)へ